



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月14日

上場会社名 株式会社サイバー・バズ 上場取引所 東
コード番号 7069 URL <https://www.cyberbuzz.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）高村 彰典
問合せ先責任者 （役職名）取締役 （氏名）岩田 真一 TEL 03-6758-4738
半期報告書提出予定日 2025年5月15日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	3,492	△9.3	110	—	118	—	65	—
2024年9月期中間期	3,850	49.1	△1,809	—	△1,800	—	△1,966	—

（注）包括利益 2025年9月期中間期 64百万円（－％） 2024年9月期中間期 △1,966百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	16.28	16.27
2024年9月期中間期	△493.58	—

（注）2024年9月期中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2025年9月期中間期	2,732		422		9.7
2024年9月期	2,782		352		7.3

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 265百万円 2024年9月期 201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,310	11.4	500	—	500	—	300	74.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年9月期中間期	4,037,100株	2024年9月期	4,037,100株
2025年9月期中間期	13,505株	2024年9月期	13,505株
2025年9月期中間期	4,023,595株	2024年9月期中間期	3,984,080株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、食品や原材料価格に高止まりがみられるものの、設備投資が堅調に推移し、インバウンドや再開発需要が景気を押し上げ、穏やかな回復基調が続いております。一方で、米国の関税引き上げに伴う世界経済への影響や中国経済減速の長期化、不安定な為替の変動など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが事業展開を行う2024年の国内インターネット広告市場は、動画広告を中心に成長し、前年比9.6%増の3兆6,517億円（注1）と推計され、総広告費に占める構成比は47.6%に達しました。また、2024年の国内ソーシャルメディアマーケティング市場は、前年比12.8%増の1兆2,038億円、2029年には2兆1,313億円（注2）まで成長すると推計されております。

このような環境の中、当社グループでは「コミュニケーションを価値に変え、世の中を変える。」をミッションとし、「SMM（ソーシャルメディアマーケティング）事業」、「ライブ配信プラットフォーム事業」、「HR（ヒューマンリソース）事業」を展開してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高3,492百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益110百万円（前年同期は営業損失1,809百万円）、経常利益118百万円（前年同期は経常損失1,800百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益65百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失1,966百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①SMM事業

SMM事業では企業がSNSプラットフォームを通して消費者へ行うマーケティング活動を総合的に支援しており、主に「インフルエンサーサービス」、「SNSアカウント運用」、「SNS広告」、「インターネット広告販売」を行っております。

「インフルエンサーサービス」では、「NINARY」及び「Ripre」を中心に、当社グループ独自のインフルエンサーネットワークを活用したプロモーション施策の企画提案を行っております。

「SNSアカウント運用」では、企業・ブランドのSNS公式アカウントの企画・コンサルティングを含めた運用代行を行っております。

「SNS広告」では、ソーシャルメディアプラットフォームの運用広告、ソーシャルメディアのプラットフォーム連動の独自メディアを活用した「tobuy」などのプロモーション施策の企画提案を行っています。

「インターネット広告販売」では、ソーシャルメディア関連広告を中心とした、他社の広告商品の販売を行っております。

当中間連結会計期間においては、SNS広告が順調に伸長したものの、インフルエンサーサービスにおける大型案件の反動減の影響や、複数案件の期ずれがあり、SMM事業の売上高は3,224百万円（前年同期比11.2%減）、営業利益は558百万円（前年同期比35.2%減）となりました。

②ライブ配信プラットフォーム事業

ライブ配信プラットフォーム事業では連結子会社である株式会社WithLIVEにおいて、有名アーティスト・タレント等とオンラインで1対1の対話ができるサービス等を行っております。

当中間連結会計期間においては、BtoB関連の受注が伸長しており、一方で人員強化に努めていることから、売上高は214百万円（前年同期比22.1%増）、営業利益は16百万円（前年同期比21.1%減）となりました。

③その他

その他では「HR事業」を行っております。

当中間連結会計期間においては、コンサルタント増員に伴う成約件数が堅調に増加しましたが、平行して採用を継続していることなどから、売上高は55百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益は16百万円（前年同期は40百万円の営業損失）となりました。

（注1）出典：株式会社電通「2024年 日本の広告費」

（注2）出典：サイバー・バズ／デジタルインファクト調べ「2024年 国内ソーシャルメディアマーケティングの市場動向調査」

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は1,953百万円となり、前連結会計年度末に比べ317百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が443百万円増加、貸倒引当金が2,202百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が2,318百万円減少したことによるものであります。なお、受取手形及び売掛金の減少の一部及び貸倒引当金の減少は、債権の回収可能性の見積りに基づき、相殺表示したことによるものであります。固定資産は779百万円となり、前連結会計年度末に比べ367百万円減少いたしました。これは主に敷金及び保証金が275百万円、のれんが30百万円、繰延税金資産が20百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,732百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円減少いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は1,619百万円となり、前連結会計年度末に比べ557百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が350百万円、未払消費税等が79百万円、未払法人税等が54百万円、買掛金が44百万円減少したことによるものであります。固定負債は689百万円となり、前連結会計年度末に比べ437百万円増加いたしました。これは主に社債が300百万円、長期借入金が146百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,309百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円減少いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は422百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が65百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は9.7%（前連結会計年度末は7.3%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ443百万円増加し、972百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は73百万円（前年同中間期は858百万円の使用）となりました。これは主に、売上債権の減少2,318百万円、税金等調整前中間純利益123百万円による増加要因、貸倒引当金の減少2,202百万円、法人税等の支払額98百万円、未払消費税等の減少79百万円による減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は274百万円（前年同中間期は152百万円の使用）となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入280百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は96百万円（前年同中間期は454百万円の獲得）となりました。これは主に、社債の発行による収入300百万円、長期借入れによる収入200百万円による増加要因、短期借入金の純減額350百万円による減少要因によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年11月13日の「2024年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	528,651	972,130
受取手形及び売掛金	3,236,094	917,235
貯蔵品	972	572
その他	72,582	63,106
貸倒引当金	△2,202,612	—
流動資産合計	1,635,687	1,953,044
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	54,845	54,845
減価償却累計額	△4,170	△6,007
建物附属設備(純額)	50,674	48,837
工具、器具及び備品	155,203	155,998
減価償却累計額	△33,747	△43,243
工具、器具及び備品(純額)	121,456	112,755
有形固定資産合計	172,130	161,592
無形固定資産		
のれん	184,523	153,769
ソフトウェア	16,792	12,073
顧客関連資産	67,451	51,949
その他	47,187	39,322
無形固定資産合計	315,954	257,114
投資その他の資産		
投資有価証券	29,048	27,127
繰延税金資産	44,249	23,934
敷金及び保証金	564,072	288,096
その他	21,364	21,364
投資その他の資産合計	658,733	360,522
固定資産合計	1,146,819	779,230
資産合計	2,782,507	2,732,274

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	708,411	663,619
短期借入金	850,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	108,000	108,000
契約負債	47,951	73,590
未払金	106,479	64,918
未払法人税等	110,154	55,413
未払消費税等	111,804	31,844
ポイント引当金	7,030	5,180
その他	127,891	117,287
流動負債合計	2,177,722	1,619,854
固定負債		
社債	—	300,000
長期借入金	216,000	362,000
繰延税金負債	36,314	27,797
固定負債合計	252,314	689,797
負債合計	2,430,036	2,309,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,621	484,621
資本剰余金	484,621	484,621
利益剰余金	△739,092	△673,595
自己株式	△32,739	△32,739
株主資本合計	197,409	262,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,476	3,051
その他の包括利益累計額合計	4,476	3,051
新株予約権	150,584	156,664
純資産合計	352,470	422,623
負債純資産合計	2,782,507	2,732,274

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,850,757	3,492,765
売上原価	2,292,800	2,170,826
売上総利益	1,557,956	1,321,939
販売費及び一般管理費	3,367,306	1,211,304
営業利益又は営業損失(△)	△1,809,349	110,634
営業外収益		
ポイント収入額	1,477	1,727
助成金収入	8,782	1,410
役員報酬返納額	—	5,239
受取保険金	—	10,000
雑収入	182	146
営業外収益合計	10,442	18,522
営業外費用		
投資事業組合運用損	915	450
支払利息	1,166	6,954
社債利息	—	789
雑損失	0	2,577
営業外費用合計	2,081	10,771
経常利益又は経常損失(△)	△1,800,989	118,385
特別利益		
新株予約権戻入益	—	5,237
特別利益合計	—	5,237
特別損失		
投資有価証券評価損	8,000	—
固定資産除却損	—	111
特別損失合計	8,000	111
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△1,808,989	123,511
法人税、住民税及び事業税	153,507	46,217
法人税等調整額	3,983	11,797
法人税等合計	157,490	58,015
中間純利益又は中間純損失(△)	△1,966,480	65,496
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△1,966,480	65,496

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△1,966,480	65,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△388	△1,424
その他の包括利益合計	△388	△1,424
中間包括利益	△1,966,869	64,071
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△1,966,869	64,071

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△1,808,989	123,511
減価償却費	57,548	43,024
のれん償却額	30,753	30,753
株式報酬費用	18,757	11,318
助成金収入	△8,782	△1,410
受取保険金	—	△10,000
投資事業組合運用損益(△は益)	915	450
支払利息及び社債利息	1,166	7,743
新株予約権戻入益	—	△5,237
投資有価証券評価損益(△は益)	8,000	—
固定資産除却損	—	111
売上債権の増減額(△は増加)	△514,993	2,318,859
棚卸資産の増減額(△は増加)	48	400
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,215,864	△2,202,612
仕入債務の増減額(△は減少)	△761,377	△44,792
契約負債の増減額(△は減少)	7,892	25,639
未払金の増減額(△は減少)	△26,380	△48,303
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,046	△79,301
ポイント引当金の増減額(△は減少)	120	△1,850
その他	52,081	1,018
小計	△738,421	169,324
利息の支払額	△1,166	△7,743
助成金の受取額	400	330
保険金の受取額	—	10,000
法人税等の支払額	△119,111	△98,838
法人税等の還付額	△206	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△858,505	73,073
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△37,500	—
有形固定資産の取得による支出	△61,083	—
無形固定資産の取得による支出	△19,012	—
敷金及び保証金の差入による支出	△35,255	△6,093
敷金及び保証金の回収による収入	—	280,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152,851	274,406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	500,000	△350,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△54,000	△54,000
株式の発行による収入	8,900	—
社債の発行による収入	—	300,000
その他	△91	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	454,808	96,000
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△556,549	443,479
現金及び現金同等物の期首残高	1,365,645	528,651
現金及び現金同等物の中間期末残高	809,095	972,130

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SMM事業	ライブ配信 プラット フォーム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,629,867	174,838	3,804,705	46,051	3,850,757	—	3,850,757
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	783	783	1,764	2,547	△2,547	—
計	3,629,867	175,622	3,805,489	47,815	3,853,304	△2,547	3,850,757
セグメント利益又は 損失（△）	862,022	20,344	882,367	△40,493	841,873	△2,651,223	△1,809,349

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、HR事業、新規事業開発を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△2,651,223千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。なお、調整額のセグメント利益又は損失（△）には、貸倒引当金繰入額2,215,864千円を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間（自 2024年10月1日 至 2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SMM事業	ライブ配信 プラット フォーム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,224,932	212,458	3,437,391	55,374	3,492,765	—	3,492,765
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1,900	1,900	—	1,900	△1,900	—
計	3,224,932	214,358	3,439,291	55,374	3,494,665	△1,900	3,492,765
セグメント利益	558,525	16,045	574,570	16,205	590,776	△480,141	110,634

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、HR事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△480,141千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」としておりました「ライブ配信プラットフォーム事業」の量的な重要性が増したため、報告セグメントへ記載する方法に変更いたしました。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。